

## 平成28年度 管理運営業務点検報告書

対象施設	横浜市鶴見スポーツセンター
対象期間	平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日
指定管理者	公益財団法人 横浜市体育協会
実施日	平成29年6月19日(月)
点検方法	指定管理者に対する業務点検の実施マニュアルに沿い、指定管理者からの報告書類の内容審査、ヒアリング、施設への立ち入り調査により実施した。
講評	<p>利用者への接遇は丁寧に行われ、施設内も整理整頓がなされており、管理運営は適切に行われています。</p> <p>本年度は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック応援企画として「Let's sports! Brazil!」を開催し、五輪メダリストによる直接指導やメダルの展示、ブラジル格闘技であるカポエイラのショーを行うなど、区内におけるスポーツ機運の盛り上げ及び多文化共生の推進に大きく寄与しました。</p> <p>また、区民文化センターとの共催でロビーコンサートを開催するなど、体育施設としての機能だけではなく、スポーツセンターの新たな魅力づくりに対しても、積極的に取り組まれている姿勢が評価できます。</p>
指摘事項	特になし
改善状況	特になし
添付資料	業務点検結果シート(別紙)

頻度	点検項目	点検内容	点検結果
毎月	利用料金収入実績	収入実績、目標達成状況	利用料金収入は予算対比108%。
	利用者実績	開館日数、入館者数、利用層別利用数、居住 区別利用数、その他利用数	利用者数は前年度比6%増。
	会議室等稼働率	部屋別等の稼働率	体育室: 92% 研修室: 74% トレーニング室: 100%
四半期	指定管理料の執行	指定管理料の支出金額、執行率 ニーズ対応費執行状況(品目、数量、金額)	予算書に基づき適正に執行されている。 制度外施設
	自主事業実施状況	募集対象、事業名、開催回数、参加人員、経 費、1人あたり参加費、講師謝金、事業計画書 の自主事業計画との整合性	時間外事業や物販事業を拡大し、利用者の利便性 向上に努めている。
	運営体制	館長、指導員(副館長)、スタッフの勤務実績	業務に支障のない勤務実績であった。
	施設の管理状況	点検実施日、点検内容、点検結果、対応状況 事業計画書どおりの適切な管理の実施(第三 者への委託状況等)	適切に管理が実施されている。
	修繕の実施状況	施設修繕の実施状況	適宜実施されている。
	備品	備品(I種)の購入・廃棄状況	適切に処理されている。
	広聴、ニーズ把握	広聴(窓口、電話、ご意見箱、アンケート、市コール センターへの意見・要望等)や利用者ニーズ、苦情 等の把握状況と対応、掲示の有無等	利用者からのご意見・ご要望に対し、適宜対応がと られている。
	サービス向上 経費節減	サービス向上の取組状況、経費節減の取組状 況	省エネの観点から積極的に経費削減を行いなが ら、施設全体の魅力向上にも努めている。
巡視点検	受付窓口の状況、館内の状況等	館内の巡視が適宜行われている。	
年1回	運営目標の実績評価 運営に対する自己評価	事業計画作成時に設定した運営目標に対する実績 目標と実績に差異が生じている場合の改善計画	制度外施設
	利用方法	利用要綱や利用案内の内容、備付け状況等	窓口で利用方法を掲示する等、利用者へ周知されている。
	個人情報保護	個人情報保護取扱特記事項の取組状況、研修 の実施、誓約書の提出	スタッフに対し研修を行うとともに、誓約書が提出さ れている。
	緊急時対策	緊急時対策マニュアルの作成・運用状況	作成・提出されている。
	防犯・防災対策	防犯・防災対策マニュアルの作成・運用状況	作成・提出されている。
		消防計画の作成・提出状況	作成・提出されている。
	保険	施設賠償責任保険への加入状況	加入している。
	その他研修等の報告	職員等に対する研修の実施状況	施設運営に必要な研修を実施している。
本市重要施策への実 現に向けての取組状 況	横浜市一般廃棄物処理基本計画に沿った取組、市 内中小企業への優先発注、環境政策、障害者福祉 政策、男女共同参画政策等の取組状況	ごみの持ち帰り、節電などへの理解・協力を利用者 へ呼びかけている。また、市内中小企業へ優先発 注に努めている。	
随時	運営委員会 利用者会議	日時、場所、出席者、議題、意見等	制度外施設
	事故等の発生状況	日時、発生状況、対応、再発防止策の検討	施設利用中に発生した急病・負傷事案に対して、状況に応じた 対応が取られている。
	損害賠償	損害賠償の発生状況	特になし
	不可抗力	不可抗力発生に伴う影響	特になし
	情報公開	件名、申請状況、対応状況	特になし
	喫緊の対応が必要又 は特に重要な意見、 要望 特に重要な施設の維 持管理、修繕に關す ること	すぐに対応が必要な意見、要望 利用の制限を伴うなど、重要な施設の維持管 理、修繕に関する状況	特になし
特筆すべき事項	サービス向上や経費節減等の取組事項		改善指導事項
	時間外事業・物販事業の拡充を行い、電子マネーによる支払いに対 応するなど、多様化する利用者のニーズに応えている。また、館内美 化に力を入れており、利用者が施設を気持ちよく利用できるよう努め ている。		特になし

## 事故報告(鶴見スポーツセンター)

日時	事故の概要	対応
2月10日(金)	健康づくり教室において、利用者がボールの運動中に、ボールを避けようとして後ろから転倒し、後頭部を強打した。	頭部をアイシングして、救急車を要請した。
2月12日(日)	横浜市民バスケットボール大会において、利用者が試合中に味方と接触して、目蓋を切った。	患部をアイシングして、救急車を要請した。
2月19日(日)	体育室におけるフットサルのプレイ中に、利用者が転倒して左肩を脱臼した。	患部をアイシングして安静にした後、救急車を要請した。
3月23日(木)	健康づくり教室の終了間際に、利用者がクールダウンから立ち上がろうとしたところ、めまいをおこす。再び立ち上がろうとしたところ、嘔吐して動けなくなってしまった。	頭部をアイシングして安静にした後、救急車を要請した。